



外務省資金協力による「ベトナム国における母子感染症予防事業」  
国立パスツール研究所（ホーチミン市）の事業協力を得て  
第2ステージをカマウ省保健予防センターにて実施（2012. Nov. 9）

特定非営利活動法人バイオメディカル サイエンス研究会（小松俊彦理事長 東京都品川区）は、外務省の日本NGO連携無償資金協力の資金による「ベトナム国における母子感染症予防事業」を、国立パスツール研究所との事業協力を得て2012年2月から開始しましたが、第1ステージのベトナム国タイニン省に続き、本年11月よりカマウ省の保健予防センターを中心に実施することになりました。

WHO世界保健統計2011によると、ベトナム国における新生児死亡率は1000人中12人と、世界193カ国中1位の日本の1000人中1人に比較して極めて高く、出産数が多いベトナムでは母子保健が大きな課題となっています。

今回の事業では、広く母子保健に影響する感染症の予防を目的として、保健・衛生・医療従事者の人材教育を中心にベトナム南部のモデル地域—タイニン省・カマウ省・ホーチミン市にて、地域医療・行政機関やホーチミン市の国立パスツール研究所の協力を得て展開します。その中で生活習慣や環境から来る母子の保健衛生リスクに対応するための糸口を数多く見出すことを期待されています。

当初計画は3年間で、ベトナムで先駆的な実績のある認定特定非営利活動法人ブリッジエーシアジャパン（根本悦子理事長 東京都渋谷区）とも相互支援することになりました。各方面からのご支援とご協力を期待しています。



タイニン省の幼稚園での母子衛生の勉強会

特定非営利活動法人バイオメディカル サイエンス研究会の概要

創設： 1987年

理事長：小松俊彦

会員数：法人会員77社 正会員400名 技術資格認定者数：2,500名

設立主旨：予防医学分野の社会貢献を目指した産・官・学・民の支援活動

Website: <http://www.npo-bmsa.org>